

平成27年6月30日

第74期（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）

貸借対照表及び個別注記表

株式会社 阪急建装

貸借対照表

(平成27年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	1,608,254	(負債の部)	1,153,811
流動資産	1,548,424	流動負債	1,088,337
現金及び預金	14,913	工事未払金	915,116
受取手形	109,139	未払金	84,226
完成工事未収入金	1,212,742	未払費用	14,017
未収入金	13,188	未払事業所税	685
貯蔵品	1,332	未払法人税等	192
未成工事支出金	44,396	未払消費税等	18,526
前払費用	5,976	未成工事受入金	14,688
短期貸付金	131,673	預り金	5,126
仮出金	1,495	賞与引当金	35,758
繰延税金資産	13,565		
		固定負債	65,473
固定資産	59,830	退職給付引当金	56,240
有形固定資産	7,184	役員退職慰労引当金	9,233
建物附属設備	3,091		
器具及び備品	4,093		
無形固定資産	15,004	(純資産の部)	454,442
ソフトウェア	15,004	株主資本	454,442
施設利用権	0	資本金	20,000
		利益剰余金	434,442
投資その他の資産	37,641	利益準備金	5,000
差入保証金	13,561	その他利益剰余金	429,442
繰延税金資産	24,079	別途積立金	8,200
その他投資	39,948	繰越利益剰余金	421,242
貸倒引当金	△39,948		
合 計	1,608,254	合 計	1,608,254

個別注記表

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

通常の販売目的で保有するたな卸資産
評価基準は原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっております。

貯蔵品 最終仕入原価法

未成工事支出金 個別法

3. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法によっております。

無形固定資産 定額法によっております。

4. 引当金の計上基準

貸倒引当金 売上債権等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権につきましても、貸倒実績率を使用し、貸倒懸念債権等特定の債権につきましても、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込み額を計上しております。

賞与引当金 従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当社退職金支給規程に基づき、自己都合による期末退職金要支給額を計上しております。

役員退職慰労引当金 役員及び執行役員の退職慰労金の支給に充てるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

5. 収益及び費用の計上基準

完成工事高の計上基準 当期に着手した工事契約から当期末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

6. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜き方式によっております。ただし、控除対象外消費税等は、発生事業年度の費用として処理しております。

当期純損益金額

当期純利益 151,051千円